Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Relationship between serum fibroblast growth factor-23 level and mortality in chronic hemodialysis patients.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 清水, 比美子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31327

主論文の要約

Relationship between serum fibroblast growth factor-23 level and mortality in chronic hemodialysis patients.

（長期血液透析患者の血清線維芽細胞増殖因子－23と死亡率の関係）

東京女子医科大学内科学（第四）教室
（指導：新田　孝作教授）
清水　比美子

International Urology and Nephrology 46(1)：99～106, 2014 に掲載

【目的】

線維芽細胞増殖因子-23(FGF-23)値は、維持血液透析(MHD)患者の予後に関与しているという報告がある。本研究の目的は、MHD患者において、血清FGF-23値と死亡率の関連性について検討することである。

【対象および方法】

平成日高クリニックの外来MHD患者92名を対象とし､倫理委員会の承認を得て、2006年1月から2011年6月までの前向きコホート研究を行った。血清アルブミン、Ca、P、iPTH、FGF-23、CRPを測定し、性別、心血管疾患（CVD）の有無を交絡因子として死亡率との関連性を検討した。

【結果】

血清FGF-23値は、Ca､P､Ca×P､iPTH値と有意に相関していた。血清FGF-23値は死亡率の増加に関与していなかった。一方、血清P値 6.5 mg/dl以上の群でのみ、FGF-23値が死亡の予測因子あった。CVDの既往の有無およびFGF-23値の2分位を組み合わせた4群で比較したKaplan-Meier解析では､CVD既往のあるFGF-23高値群が最も死亡率が高かった｡男女別の解析では､女性群でのみ、

FGF-23 値の 2 分位での高値群が低値群と比較して CVD イベントが有意に多かった。

【考察】

MHD 患者において、血清 FGF-23 値と P 値は有意な相関を認めたが、FGF-23 値が死亡の予測因子となったのは、血清 P 値 6.5mg/dl 以上の群のみであったことから、FGF-23 値は高 P 血症を介して死亡率と関係していると考えられる。

CVD 既往のある FGF-23 高値群で有意に死亡率が高く、FGF-23 高値群で CVD イベントの発症率が有意に高かった。しかし、FGF-23 値は総死亡率との間に有意な関連性を認めなかった。血清 FGF-23 の高値は CVD イベント発症に関与しているが、CVD 既往のない MHD 患者においては総死亡の直接的な危険因子ではない可能性を示唆する。

本研究では、血清 FGF-23 値と CVD イベントの関係に性差を認めた。女性において FGF-23 高値群が CVD イベントの増加に関与する原因は明らかではない。

【結語】

本研究では、MHD 患者における FGF-23 値の総死亡率に対する作用は高 P 血症を介しており、性別や CVD の既往に修飾される可能がある。